

東海道 五十三次

歌川重右

五十三次

沼津

歴史探索町歩きマップ(二)

第一小学校創立百五十周年記念
第一地区センター開館20周年記念

ふるさと沼津の中心にある
わが町第一地区には
歴史の香り豊かな名所旧蹟が
たくさんあります
さあ町歩きして
再発見してみませんか

表紙：歌川広重「東海道五十三次 沼津宿」(小栗家所蔵)
歌川広重(安藤重右衛門) 1797(寛政9)～1858(安政5)

第一地区活性化事業

沼津第一地区コミュニティ推進委員会

明治2年(1869)3月、静岡藩は陸軍医局を西条に開設。建物は江戸の薩摩藩邸を移築した。2階建、ガラス窓、ベッドなど最新設備がなされていた。8月には沼津病院と改称され、杉田玄白院長をはじめ優秀な医師、舶来品の医療器具を備えており我が国洋式病院の先駆的存在だった。その後駿東病院と改称、経営方法も変わったが昭和20年戦時色強まったが、佐々木院長の決断で廃院となった。

明治 32 年 (1899) 町立沼津商業学校として蓮光寺を仮校舎に開校。翌年山神道に移り、大正 12 年 (1923) 丸子町に、昭和 42 年 (1967) には清水町徳倉に移転。丸子町にはプールのコンクリート堀が残っている。

「延喜式神名帳」(927年)に記載されている神社で祭神は金山彦命。
新田義貞の弟脇屋義助が鎌倉を攻める時刀を奉納した。武田勝頼は織田信長と戦う時にこの神社に戦勝を祈願するが果たせず焼いてしまったという話が「沼津町誌」にある。

明治 20 年(1887)、東
海道線建設の資材運
搬のために築かれた。
県下最初の公設鉄道
で、後には魚市場の海
産物や木材、漁船の燃
料などを運んだ。
昭和 49 年(1974)に
廃止され、蛇松緑道
となる。

江戸時代初期に築かれた牧堰・門池用水や松沢からの用水が我通路川となり、第一校区で子持川に、さらにその下流が観音川となって沼津港へ流れる。

沼津兵学校附属小学校はわが国最初の近代的小学校で、第一小学校はその伝統を受け継ぐものであると書かれている。

この碑は平成10年(1998)に建てられた。

[illegible][illegible]

至原宿

まごごろう
真砂町

元真砂町商店街通り

7-Eleven

WC

校区北側と商店街の散策を
おたのしみください
ゆつくり歩いて
約90分

日本哲学の祖といわれる西周は明治元年（1868）12月に沼津兵学校頭取として赴任。沼津城外堀の現あまねガード辺に居住。明治3年に新政府の要請で上京。沼津滞在は2年に満たない。

明治 39 年 (1906)
沼津駅〜三島広小路間が開通。
昭和 38 年 (1963)
廃線となる。

静岡藩の陸軍将校養成学校で明治元年(1868)12月に設立。明治5年に廃止されるまで旧幕府の優れた教授陣のもと、第1期生から第9期生まで220人余が学んだ。その多くは明治政府の役人や、軍人、学者、教育者など各界で活躍した。この碑は明治27年(1894)にここで学んだ人たちによって建てられた。現在の碑は平成3年(1991)に再建されたもの。

約3.0km
ORANGE COURSE
オレンジコース
校区北側と商店街の散策を
おたのしみください
ゆっくり歩いて
約90分

約2.5km
GREEN COURSE
グリーンコース
川沿いと住宅地をゆっくりと
散策してください
ゆっくり歩いて
約80分

あなたの写った史跡スナップショット募集中です。
地図中の歴史スポットで撮った写真を第一地区コミのホームページにお送り
ください。もれなく掲載させていただきます。(https://comi.numadu-dai1tai.info/kouhou-shi/)

15 西周 (にしあまね) レリーフ
日本哲学の祖とい
われる西周は明治
元年 (1868) 12
月に沼津兵学校頭取
として赴任。沼津城

19 城岡神社 (しろおかじんじや) 《東照宮》

7 中央公園《沼津城址 (じょうし) 公園》
安永 6 年 (1777)、水野忠友が沼津城主となり
沼津城を築いた。中央公園はこの沼津城の本丸が
あった所である。明治 5 年 (1872) に城は静岡県
により競売に付され、建物は

津波避難ビル 公園など 自治会館など
トイレ コンビニ 歩道橋 旧城堀

沼津城の守護神として文政 7 年 (1824) に城主水野忠成が 11 代将軍徳川家斉の勸めで伏見稻荷神社を祀り、明治 7 年 (1874) には旧幕臣たちが東照大権現を祀る。明治 36 年 (1903) には城岡神社と称した。39 年には大国主命を祀ったので 3 つの神が鎮座されている。

沼津兵学校創立 70 年の式典が行われた際、そこで学んだ人や子孫たちが中心となって昭和 15 年（1940）に碑を建てた。初めは大手町の旧郵便局の所に建てたが、平成 3 年に城岡神社境内に移した。

安永6年(1777)、水野忠友が沼津城主となり沼津城を築いた。中央公園はこの沼津城の本丸があった所である。明治5年(1872)に城は静岡県により競売に付され、建物はほとんどなくなってしまったが明治11年(1878)には本丸跡に小学沼津学校が置かれ、その後裁判所が設けられ、昭和29年(1954)に中央公園になった。

三枚橋城の最後の城主だった大久保忠佐(ただすけ)の碑。忠佐は家康に仕え勇名をとどろかせ、慶長6年(1601)に城主となる。同18年(1613)に77歳で逝去、跡取りがなかったために三枚橋城は廃城となった。忠佐は晩年に入道して道喜と称したのでこの碑を道喜塚といった。

大正 15 年 (1926)、
加藤ふぢ氏により真
砂町に開校される。
昭和 9 年 (1934)に
沼津女子商業学校と
改称し、昭和 11 年
に米山町に移転。
現在に加藤学園高等
学校である。

明治 15 年(1882)
城内町に開設（現在の
清水銀行沼津支店辺）
される。

明治 35 年(1902)
山神道（現在の末広
町）に移される。

昭和 14 年(1939)
に三島に移転される。

江戸時代、沼津は東海道の12番目の宿場で、天保年間(1830～44)には本陣3軒、脇本陣1軒、旅籠が55軒あり、本町中心に宿場町として栄えていた。

明治9年(1876)に狩野川に架けられた最初の橋で、当初は湊橋と称し橋銭をとっていた。大正元年(1912)に御成橋と改称した。現在の橋は昭和12年(1937)に架けられたもので、昭和20年(1945)4月の空襲の被弾痕が残っている。

創建年代は不明だが天正のころに三枚橋城内に祀られていたといわれている。
大正2年の大火で焼けたりして何度か場所を移している。
昭和初期には名古屋のお化け市を参考に、縁日には仮装したり、狐の嫁入りなどのイベントを行ってにぎわった。

この通りは旧国道 1 号から狩野川沿いに上土へ抜ける小さな路地で江戸時代の東海道はここを通っていた。地名は狩野川に面した城郭(曲輪)に由来して付けられている。水神社は狩野川の洪水からの守り神で、お盆の時期に水難などの災害から守られるように河童を作って祀ったり、お守りを販売したりした。